

令和6年度第3回市民協働によるまちづくり推進協議会内容

日時 令和7年1月9日（木）

19:00～21:10

場所 市役所地下会議室A

委員 9名出席

- 会議の目的
- ・区長アンケート結果確認
 - ・広域自治の研究

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 区長アンケート結果確認

アンケート結果と気になった点の確認

- ・行政からの情報提供（配布・回覧）に約4割が負担を感じている
 - 電子媒体だけで代替できるか疑問
 - 高齢者を中心に利用の支援が必要となるのではないか
 - 併用するのが現実的
 - ウェブサイトでの発信は、若年層のアプローチに期待できるが、基となるプラットフォーム作成は行政で担えないか
- ・区の行事（お祭り等）の企画・運営に約3割が負担を感じている
 - どの区でも神社などの祭典の企画が負担になりつつあるが、祭典当日の参加者は多い
 - 企画段階から関わる市民をどう発掘するか
- ・高齢化、人口減少に合わせ見直した内容
 - 行事をやめたものばかりが目立つが、一方で必要となっていることもあるはず
- ・区を脱会する例
 - 集合住宅世帯への情報共有も課題である
 - 脱会理由はさまざまだが、加入しないことがあたり前にせぬよう自治

会の魅力向上の視点を

→現実的な社会の成り立ちや自治の必要性も発信すべきではないか

例：子どもが自身の自治会を調べるなど、子ども時代にアプローチを

→教育基本法が目的に掲げる社会の形成者の育成にあたり、学校教育ではできない部分を地域で担うことの理解が必要

・各地区運営に関する記述

→中学校単位の協力隊など業としてコーディネートをする人材が必要

4. 広域自治の研究

山形県発行の地域運営組織形成のための手順書をもとに協議

→広域で取り組むには、明確なビジョンが必要

例：地区計画などの作成

→公民館機能がない中では、支所を中心に描くべきではないか

→現状、地区内の団体が危機感を共有したり、話し合ったりする場面が乏しいのではないか

→地区内の集まる場はあるので、有効活用して機能させればよい

→限られた人材で担うにはコミュニティスクールと縦割りで動いてはいけない

→広域となり地区内の部会等が機能して、各団体の補完機能が発揮されればよい

→推進にあたっては、気づいた人の1歩の支援、フォロワーの存在が重要

→強力に変える人の存在も必要かもしれないが、自分たちの行動で身近な地域を変えられるという実感も必要

5. その他

・森川会長から深良用水の演劇に関する情報提供

・次回は、計画の進捗状況等のチェックを実施

6. 閉会